

東アジア古典学の方法 第 18 回

次世代ロンド (1)

日時：2016年5月28日(土) 13時半より

場所：北海道大学・人文社会科学教育研究棟

(文系共同講義棟) W516 室

発表：廣瀬 公彦 (北海道大学)

「『万葉集』の身分的階層と歴史意識」

マシュー フェルト (早稲田大学・コロンビア大学)

「『釈日本紀』に世界観はあるのか」

司会：金沢 英之 (北海道大学)

コメンテーター：関谷由一、馬場小百合、松原舞、山崎健太

「次世代ロンド」とは

科研プログラム「東アジア古典学の次世代拠点形成——国際連携による研究と教育の加速」(代表：齋藤希史)では、2016年度より、若手研究者による研究発表・交流の場として「次世代ロンド」を立ち上げました。

大学院生やポスドク、助教、講師などの若手研究者から発表者を募り、自らの所属機関以外の場所で発表を行ってもらうのが特徴です。コメンテーターも同様に若手研究者から募集し、さらに発表場所となった大学や研究機関からも発表者を選出してもらうことで、所属機関の枠を超えた研究交流の促進を図るものです。

主催：科研プログラム「東アジア古典学の次世代拠点形成——国際連携による研究と教育の加速」

<http://eacs.c.u-tokyo.ac.jp> (科研ホームページ)

お問い合わせ：eastasia@fusehime.c.u-tokyo.ac.jp